

主な土壌消毒剤の特徴一覧

有効成分名	商品名	効 果						主な 処理方法	くん蒸期間	ガス抜き 期間
		ウ イ ル ス	か び	細 菌	害 虫	線 虫	雑 草			
クロルピクリン	クロールピクリン、ドジョウピクリン、クロピクテープ、クロピクフロー、クロルピクリン錠剤	×	○	○	○	○	○	土壌注入、マルチ畦内、埋設、灌注	地温15℃以上：約10日 地温低い時：約20～30日	不要
D-D	D-D、DC油剤、テロン	×	×	×	○	○	×	土壌注入	7～14日	3～4日 (耕運1回)
クロルピクリン+D-D (混合剤)	ソイリーン、ダブルストッパー	×	○	○	○	○	○	土壌注入	7～14日	3～4日 (耕運1回)
ダゾメット	ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤	×	○	○	△	△	○	土壌混和	7～14日 地温10～15℃：さらに延長 10℃未満：使用しない	10～14日 (耕運2回以上)
カーバムNa塩	キルパー	×	○	○	△	△	○	散布混和、希釈散布・灌水、土壌注入	7～14日	7～10日
MITC+D-D (混合剤)	ディ・トラペックスサイド	×	○	○	○	○	○	土壌注入	7～14日	7～10日

備考) 本一覧は、指導機関発行の技術資料や農薬会社発行の技術資料を参考にして整理した。ラベルを良くみて、適用内容を確認して使用願います。